

## 研究計画書

### 【題名】

体重免荷式歩行器を使用した ICU-AW 患者への介入

### 【研究目的】

体重免荷式歩行支援装置は免荷による荷重負荷への軽減効果や、下肢の支持性が低下している状態でも早期から歩行練習が出来ることから、脳卒中や脊髄損傷患者などの運動麻痺に対する介入報告が多い。急性期では ICU 関連筋力低下 (ICU-AW) においても四肢における神経症状が生じると言われており、早期リハビリテーション介入の効果を示唆する報告があるが、体重免荷式歩行支援装置を使用した報告は少ない。よって今回、肺炎により長期の人工呼吸器使用および ICU 滞在となり ICU-AW であると思われる患者に対して、体重免荷式歩行器 POPO を使用したためその効果を考察することとする。

### 【症例】

80 歳代女性。診断名は急性肺炎、ショック。

### 【方法】

POPO を使用し始めた時期からの筋力 (MRC スコア、握力、下肢伸展筋力)、ADL (BI)、を定期的に評価し、その変化より筋力と ADL の関係性を考察する。

画像及び動画にて、姿勢および歩行練習時の歩行状態を提示する。

### 【研究期間】

平成 30 年 4 月～5 月までの 2 ヶ月間

### 【個人情報について】

症例を特定されないよう、名前は公表せず、画像および動画に関しては顔をマスクングする。また日付に関しても表記せず評価日は入院からの経過日数とする。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

### 【研究代表者】

リハビリテーション部 理学療法士 森下誠也

### 【発表方法】

第 47 回四国理学療法学会にて発表予定